

# 一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

## 2014年度第4回(通算第26回)理事会 議事録

1. 開催日時：2014(平成26)年11月30日(日) 11:00～14:47 (12:43～13:15 休憩)
2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室
3. 審議事項および資料  
第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について  
第2号議案(専権等の報告) 業務執行報告(総務系)  
第3号議案(専権等の報告) 業務執行報告(事業系)  
第4号議案(専権等の報告) 11月29日 調整会議報告  
第5号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)  
第6号議案(継続審議) 2014年度(2014年7月～2014年10月まで)の決算報告  
第7号議案(専権等の報告) 新規後援依頼の専権報告(2014年9月～2014年11月)  
第8号議案(専権等の報告) 展示会出展報告および進捗報告  
第9号議案(決議) 第29回リハ工学カンファレンス in ひろしま報告書(決算含む) 理事会の承認  
第10号議案(専権等の報告) 30回リハ工学カンファレンス in 沖縄開催に関わる視察について  
第11号議案(決議) 福祉機器コンテスト実施規程の修正について  
第12号議案(決議) SIG 規程変更(発起人人数)について  
第13号議案(決議) SIG の活動費申請について  
第14号議案(決議) リハ工学を活用した生活シンポジウム開催について  
第15号議案(決議) 第4回合同シンポジウム開催について  
第16号議案(決議) 「頸損解体新書2010」の調査データ使用の依頼への対応について  
第17号議案(決議) 次期選挙管理委員会の委嘱について

4. 理事総数 15名  
出席理事数 15名  
会長(代表理事) 繁成剛  
理事 岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、元田英一、剣持悟、相良二郎、鈴木聖貴  
高原光恵、塚田敦史、畠中規、古井 透、水澤二郎、宮野秀樹、山形茂生  
監事 井村 保  
事務局 深野栄子

5. 議事の経過の概要及び議決の結果  
(1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。  
(2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の畠中規と古井 透の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について  
事務局統括担当の沖川理事より、第1回の理事会以降に承認された7月14日～8月19日、8月20日～9月22日までの計8名(正会員5名、学生会員3名)の入会が報告された。

## 第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（7月1日～11月29日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

### ■ 副会長／公益法人化

- ・ iCREATe2013 への対応（アジア連携）の報告。
- ・ 8月29日：基調講演にて「超高齢社会の日本におけるリハ工学」と題して当協会の活動をシリントンタイ王国王女の御前にて報告した。
- ・ 8月30日：RESKO、TREATS、START Centre（シンガポール）、NECTEC（タイ王国）、香港作業療法士協会の代表者がパネラーとなる特別セッションに参加し、日本の現状と連携に向けての課題を提示した。連携のスキームには西アジアまでが含まれており、日本がイニシアティブを取るのには地理的に難しいと感じられた。
- ・ SDC（Students Design challenge）の審査委員も依頼されたが、SDCへ福祉機器コンテストの応募作品を推薦することは公益活動として望ましいと感じられた。

### ■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 代議員選挙・役員候補者選挙・役員選挙の新選挙管理委員会に打診を行った。
- ・ 各種規定の整備を行っている。

### ■ 理事会・総会担当

- ・ 2014年度第1回（通算第23回）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第2回（通算第24回）（電磁的手段による）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度定時社員総会の総会資料の取りまとめ、作成を行った。
- ・ 2014年度定時社員総会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第3回（通算第25回）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度臨時社員総会の総会資料の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度臨時社員総会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第4回（通算第26回）理事会および事後調整会議の開催案内を行った。

### ■ 事務局統括／財務担当

- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備：法人統合した財務管理・諸表での問題点等から改善策を検討し、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を実施した。
- ・ 2013年度決算処理を行い、法人統合後の問題点等について改善方法を検討した。
- ・ 2014年度会費未納者へメールニュースにて会費納入のお願いをした。
- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援5件（新規1件、継続4件）、協賛3件（継続3件）
- ・ ホームページの運営管理：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※7月3件、8月3件、9月2件、10月1件、11月1件

### ■ 広報・渉外担当

- ・ 「第1回福島県車椅子・車椅子関連機器 展示相談会」への後援を依頼（新規）した。
- ・ 10月10日～10月15日まで、主催：社会福祉法人創世福祉事業団創世テクノエイドセンターからの新規後援依頼に対する意見収集を、各理事に対し行った。特に意見はなく、問題無いとして、10月16日に専権行使の発行宣言を行った。

## 第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（7月1日～11月29日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

### ■ カンファレンス担当

- ・ 第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまを開催した。参加者は228名で、一般演題76、インタラクティブ23演題、企業展示16社であった。

- ・ 第30 回リハ工学カンファレンス in 沖縄の開催準備を行った。各 SIG の基礎講習が実施できる運びとなり、日程表（仮）が完成した。
- ・ 沖縄現地視察を行った（平成 26 年度沖縄 MICE プロジェクトを利用）。

#### ■ コンテスト担当

- ・ 第一次選考会、第二次選考会を開催し、受賞作品を決定した。
- ・ H. C. R. 2014 にて発表と表彰、実物作品展示を行った。
- ・ P. P. C. 2014(北九州市)にて受賞作品の実物展示を行った。

#### ■ 協会誌担当

- ・ 協会誌 Vol. 29 No. 3、Vol. 29 No. 4 を発行した。
- ・ 編集委員会を新大阪にて開催した（10 月 4、5 日）。

#### ■ 分科会・委員会担当

- ・ SIG 活動費及び支部活動費の申請を理事会に提案した。
- ・ 沖縄カンファレンスでの SIG 基礎セミナーについて各 SIG 打診と調整を行った。
- ・ SIG-ML の登録メンバーの改廃を実施した。

#### ■ 企画担当

- ・ 難病看護学会とのコラボレーションセミナーを企画し開催した。参加者は 50 名であった。コミュニケーション機器の展示とパネラー発表が行われた。当協会との初のコラボレーション企画で大変興味深かった。
- ・ 航空関係者のための車椅子取り扱い講習会を中部国際空港にて開催した。
- ・ H. C. R. 2014 にてブース出展、出展社プレゼンテーション、及び「子ども広場でひろげよう」を開催した。
- ・ 第 4 回合同シンポジウム開催に関する調整を 3 回行った。
- ・ 第 30 回リハ工学カンファレンス開催の現地当事者団体への協力要請活動を行った。
- ・ 第 16 回西日本国際福祉機器展（P. P. C. 2014）出展・セミナーを企画し開催した。
- ・ バリアフリー 2015 出展に関する展示会事務局との調整を行った。

#### ■ 国際担当

- ・ ICCHP のクラウド議長へ、リハ工学カンファレンスの情報提供を行った。
- ・ アジアリハ工学連携会議（仮称）に相良副会長が参加した。11/6 の RESKO カンファレンスでも同会議が開催され、横浜リハ上野氏・国リハ中村氏に出席を依頼した。
- ・ RESKO カンファレンスにおいて次回リハ工学カンファレンス（沖縄）の周知を行った。
- ・ 第 29 回リハ工学カンファレンス（広島国際大学）にて英語セッションの企画運営をカンファレンス実行委員会の協力をうけて実施した。

#### 第 4 号議案（専権等の報告）11 月 29 日 調整会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、11 月 29 日に行った調整会議の報告がされた。

出席者：繁成会長、鈴木総務統括理事、沖川事務局統括理事、宮野企画担当理事、剣持カンファレンス・企画担当理事、山形カンファレンス担当理事、深野事務局長

#### ■ 役員選挙

- ・ 選挙管理委員会を神奈川県総合リハビリテーションセンターに打診した。
- ・ 代議員選挙、役員候補者選挙、役員選挙の実施について問題点を検討した。
- ・ 代議員が役員を信任し、総会にて代議員が承認するのは 2 度手間である。今一度、定款と細則を確認し鈴木の方で検討することとした。

#### ■ 理事会推薦

- ・ 退任予定者、新理事候補者等についての検討を行った。

#### ■ カンファレンス

##### 【第 29 回広島】

- ・ 収支決算書に訂正等があるようなので精査が必要。出納簿の提出がなく照合できていない。

【第30回沖縄】

【第31回 2016年度開催】

- ・ 候補地の検討

【第32回 2017年度開催】

- ・ 候補地の検討

■ 第3回復興支援講習会

- ・ 実施予定日を検討した。
- ・ 開催場所を仙台市内とし、会場は現時点で4つの候補を挙げている。

■ 業務分掌と業務執行権限

- ・ 報告については各統括理事が判断し、理事会の報告事項にするか業務執行報告として記載するかを判断する。

■ 会計

- ・ 会計士作成のデータをDropboxにアップした。

■ SIG

- ・ 法人内SIG、法人外SIGについて話し合いがあった。

■ 年会費

- ・ 新入会員については年会費の口座振替を積極的に勧める。

第5号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について（報告）

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

第6号議案（継続審議）2014年度（2014年7月～2014年10月まで）の決算報告

財務担当の沖川理事より、2014年7月～2014年10月までの収支計算書総括表、正味財産増減計算書総括表（フロー式）、貸借対照表総括表が提示され報告された。

第7号議案（専権等の報告）新規後援依頼の専権報告（2014.9～2014.11）

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「第1回福島県車椅子・車椅子関連機器 展示相談会（主催：社会福祉法人創世福祉事業団創世テクノエイドセンター（福島県） 開催日：2014（平成26）年11月24日）があった。10月10日～10月15日まで意見収集を各理事に対し行ったところ、特に意見はなく、問題無いとして、10月16日に専権行使の発行宣言を行ったことが報告された。

第8号議案（専権等の報告）展示会出展報告および進捗報告

事業統括担当の金井理事より、事業計画に基づき、国際福祉機器展 H.C.R.2014 および西日本国際福祉機器展 P.P.C.2014 に出展し、ブースでの協会広報およびセミナー等の開催をしたこと、また、バリアフリー2015 出展について展示会事務局と調整を行ったことについて報告がされた。

■ H.C.R.2014

- ・ 10/1～3 に開催された H.C.R.2014 にブース出展をし、協会広報を行った。3日間の総来場者数は127,651人であり、当協会ブースにも多数の来場者が訪れた。「福祉機器の公的支給制度～正しい理解と効果的利用のすすめ」（講師：黒田大治郎氏）と題した出展社セミナーも開催し、100名を超える方に参加いただいた。また、福祉機器コンテスト表彰式および車椅子トレーニングイベントも開催し、充実した展示会出展となった。
- ・ 「子ども広場で広げよう！！」：参加者6名、見学者50名であった。主催者側と共同で開催できたのはよかった。参加者6名の操作レベルが同程度なのでよかったが、操作レベルが広範囲に及んだ場合

や、当日参加者等が増えた場合は会場が手狭になること等が想定される。また、出展社セミナー、コンテスト表彰式と重なってしまったことが改善点として挙げられる。

■ P.P.C. 2014

- ・ 11/7～9 に開催された西日本国際福祉機器展に KOY 支部を中心に出席した。今年は NPO 福祉用具ネットと共同での出展となったが、協会ブースおよびコンテストブースが充実し、また 3 日間とも協会プレゼンツのセミナーを開催するなど、より出展効果が高まるものとなった。総来場者数も 26,406 人とここ数年より伸びた。各地域におけるこの分野の発展に寄与することは当協会の使命であるので、次年度以降も NPO 等と協力し、KOY 支部を中心に出席していく必要性を認識した。

■ バリアフリー2015

- ・ P.P.C. 2014 会場にてバリアフリー展担当者と協議し、バリアフリー2015 においても 2 小間の提供をいただける旨の内諾を得た。12/22 の申込メッに向けて最終調整を行う。また出展社セミナーの開催も効果があがるので検討する。

第9号議案第(決議)第29回リハ工学カンファレンス in ひろしま報告書(決算含む)理事会の承認

カンファレンス担当の山形理事より、第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまの報告(決算書含む)が提示されたが、収支決算書に不備があったため、2015年1月11日(日)に臨時理事会を開催することとし継続審議とした。

第10号議案(専権等の報告)30回リハ工学カンファレンス in 沖縄開催に関わる視察について

カンファレンス担当の山形理事より、第30回リハ工学カンファレンス in 沖縄開催決定により、沖縄 MICE プロジェクトに参加し、視察したことの報告がされた。

第11号議案(決議)福祉機器コンテスト実施規程の修正

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト実施規定の第13条と第18条の内容が矛盾するため、第13条の一部(機器開発部門においては合計約20件以下を一次通過作品とする)を削除し、第22条および第23条の団体名に法人格を明記する修正案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認14、非承認0 (会長除く)

第12号議案(決議)SIG規程変更(発起人人数)について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、今後の法人内 SIG の新規立ち上げに関して、円滑な運営と SIG 内組織構築のため、予め従来(5名)よりも発起人が確保された(10名)上で設置申請が望ましいと考えた規定変更案(第4条)が提示され、審議の結果、第4条第2項として「設立時 SIG 構成員は10名以上とする。」を第5条(4)として「設立時構成員名簿」を追加し、以下繰り下げることとし、満場一致で承認された。

承認14、非承認0 (会長除く)

第13号議案(決議)SIGの活動費申請

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、4SIGからの活動費の承認申請が挙げられ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認14、非承認0 (会長除く)

第14号議案(決議)リハ工学を活用した生活シンポジウム開催の件

企画担当の宮野理事より、NPO 法人沖縄脊髄損傷者協会と「リハ工学を活用した生活シンポジウム(仮)」を沖縄で共催開催したいとの提案があり、審議の結果、条件付きとし、満場一致で承認された。

承認14、非承認0 (会長除く)

第15号議案（決議）第4回合同シンポジウム開催の件

企画担当の宮野理事より、全国頸髄損傷者連絡会と共同で開催していた合同シンポジウムの第4回目を関西で開催したいと事業計画書（案）、実行委員名簿、予算書（案）を提示の上、提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認14、非承認0（会長除く）

テーマ：一緒にやろうや！住

日時：2015年3月21日（土・祝）13:00～16:30

会場：川村義肢株式会社本社ホール

内容：「住まう」をキーワードに様々な分野の専門家（当事者、建築、まちづくり、リハビリ）が集まり、具体的事例を交えながら意見交換を行う予定である。

第16号議案（決議）「頸損解体新書2010」の調査データ使用の依頼への対応について

事務局統括担当の沖川理事より、某大学教員からの「頸損解体新書2010」の調査データ利用の申請について、この調査をさらに深めるために協力したいという提案があったが、審議の結果、否認された。

承認1、非承認13（会長除く）

第17号議案（決議）次期選挙管理委員会の委嘱

総務統括担当の鈴木理事より、今年度で選挙管理委員会の任期が終了するため、次回の選挙管理委員会の推薦を行うにあたり、現選挙管理委員に引き続きお願いしたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認14、非承認0（会長除く）

辻村和見 氏（神奈川県リハビリテーション病院）

松田健太 氏（神奈川県リハビリテーション病院）

村田知之 氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2014（平成26）年度第4回（通算第26回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14時50分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2014年11月30日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成26年度第4回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 畠中 規

議事録署名人 古井 透